

社会医療法人恒心会

恒心会 おぐら病院



恒心会 理念

(2016.4月 社会医療法人取得)

『恒に信頼される質の高い医療・介護を提供し、
地域社会に貢献します』



恒心会 おぐら病院
KOHSHINKAI OGURA HOSPITAL

恒心会 基本方針

『患者さん中心のチーム医療』

『技術向上と人財育成』

『地域連携』



恒心会 シンボルマークの由来



マーク全体のデザインは恒心会の『K』

カラーは全体的に信頼感をイメージする色の代表「青」を恒心会

「緑」は患者さんや地域を表しています

「急性期～回復期リハビリ、介護分野 そして在宅までシームレスな

サービスで患者さんや地域を大切に包み込む存在でありたい」

という想いが込められています



恒心会 おぐら病院
KOHSHINKAI OGURA HOSPITAL

看護部紹介

▶看護単位

8単位（5病棟単位・手術室・外来・患者サポートセンター）

▶入院基本料

一般病棟 入院基本料Ⅰ（7対Ⅰ）

回復期病棟 入院料Ⅰ

▶看護体制

プライマリーナーシング ・ チームナーシング

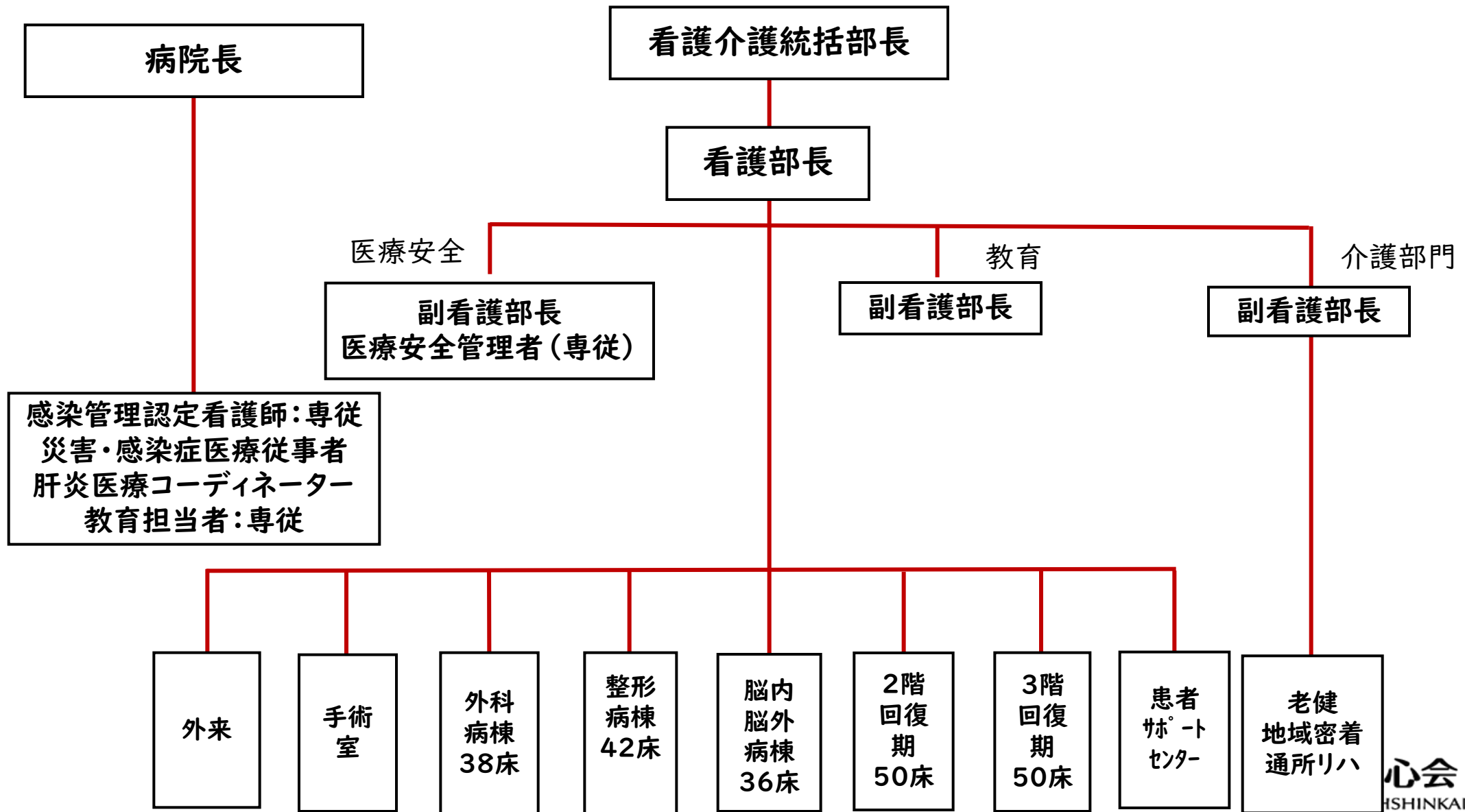
パートナーシップ・ナーシング・システム（5階病棟）

▶勤務体制

2交替 日勤・夜勤（3人夜勤）



看護部組織図



恒心会事業紹介

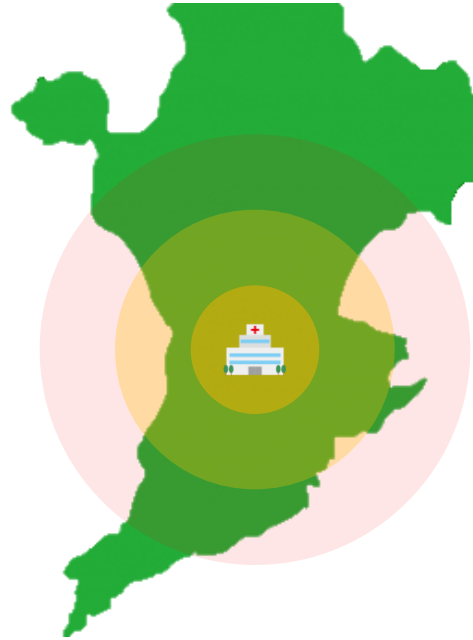
(1) 恒心会おぐら病院

(2) 介護老人保健施設 ヴィラかのや

(3) 訪問看護ステーション ことぶき

(4) ヘルパーステーション ヴィラかのや

(5) 居宅介護支援事業所ヴィラかのや



(10) さかもと歯科クリニック

(9) グループホーム イーストサイト おぐら壱番館

(8) グループホーム イーストサイト おぐら貳番館

(7) 小規模多機能ホーム サポートセンターおぐら24

(6) おぐら居宅介護支援事業所



恒心会 おぐら病院
KOHSHINKAI OGURA HOSPITAL

恒心会おぐら病院

2025年4月現在

おぐら病院 216床

- ・急性期：116床
- ・回復期：100床

老健ヴィラ 80床

- ・2F:38床
- ・3F:42床

地域密着

- ・GH壺 式 各9床
- ・サポートセンター 25床

職員数：722人

医師：31人

看護職：233人
介護職：126人

リハビリ部：133人

他コメディカル：199人

恒心会 おぐら病院

KOHSINKAI OGURA HOSPITAL

恒心会おぐら病院

■診療科数 22診療科

整形外科、外科、脳神経内科、脳神経外科、リハビリテーション科、

内科、胃腸内科、消化器外科 肛門外科、循環器内科、放射線科リウマチ科、

形成外科、小児外科、呼吸器内科、血液内科、消化器内科、麻酔科、婦人科、

心療内科呼吸器外科、肝臓内科



看護部 部署紹介



恒心会 おぐら病院
KOHSHINKAI OGURA HOSPITAL

看護単位:8単位 外来・手術室・病棟5・患者サポートセンター

病床数:216床

急性期:116床

回復期:100床

*3階西病棟 38床 急性期外科

*2階東病棟 50床 回復期

*4階病棟 42床 急性期整形外科

*3階東病棟 50床 回復期

*5階病棟 36床 脳神経内科
脳神経外科

※急性期病棟は7対1入院基本料入院患者7名に対して
常時1名以上の看護職員体制(7割以上正看)



恒心会 おぐら病院
KOHSHINKAI OGURA HOSPITAL

看護単位:8単位 外来・手術室・病棟5・患者サポートセンター

病床数:216床

急性期:116床

回復期:100床

急性期医療

外科・整形外科・脳神経内科・
脳神経外科系の疾患を
一定期間集中的な治療実施

回復期医療

機能回復のための
入院リハビリを重点的に実施

※急性期病棟は7対1入院基本料入院患者7名に対して
常時1名以上の看護職員体制(7割以上正看)



恒心会 おぐら病院
KOHSHINKAI OGURA HOSPITAL

外来

1次医療から2次医療に対応する医療機関として 中核的役割を担っています

地域密着型の病院として、予防診療(健診)、救急医療体制・専門性に特化した診療体制の充実を目指し、他医療機関との連携を図り、地域住民の疾病予防、健康維持・増進に努めています

*夜間当直者を配置し24時間受け入れ体制

*外来診察室15室

大隅では恒心会のみ!

*外来化学療法室HBO室

*ハイパーサーミア(がん温熱療法)

*再生医療(APS療法)

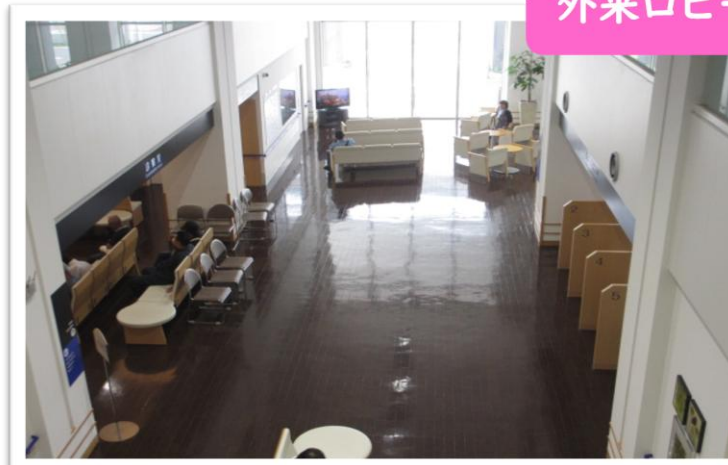
*救急搬送数:130件前後 / 月平均

■がん薬物療法看護認定看護師 1名配置

救急外来



外来ロビー



手術室・サプライ

＊高性能フィルターを用いて換気を行う4つの部屋に区分され

整形外科、外科、形成外科手術を実施

手術件数：約1500件/年

＊手術を受ける全ての患者へ安心・安全な質の高い看護提供のために、
術前・術後訪問を行う

＊執刀医・介助医・麻酔科医・看護師・各種コメディカルが一つのチームとなり、
それぞれの専門的知識や技術を発揮・結集させ手術を進行することが必要

■ 特定行為研修(呼吸器関連、麻酔パッケージ) 修了者 1名

■ 術後疼痛管理研修修了者 1名

手術室



3階西病棟

*消化器疾患が主体

*急性期（周術期）から終末期（緩和ケア）の 患者が主に入院する病棟

■ 皮膚排泄ケア認定看護師 1名

■ 認知症看護認定看護師 1名配置

■ 緩和ケア認定看護師 1名

急性期病棟



個室前ロビー



4階病棟

＊交通事故やスポーツ等による外傷、加齢に伴う
骨関節疾患及び転倒による骨折を対象に手術を行う急性期病棟

＊年間の手術件数は約1200件 大隅地域の整形外科の中核を担う

■術後疼痛管理研修 修了者 1名

■特定行為（創傷管理関連・呼吸器関連）修了者1名

スタッフステーション



5階病棟

- *脳神経内科、脳神経外科、急性期の内科疾患
- *術後のリハビリ期や保存療法の整形外科
- *内視鏡検査後の外科の混合病棟

- 摂食嚥下障害看護認定看護師 1名
- 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 1名
- 特定行為研修 血糖コントロール関連 修了者 1名

5階病棟



有料個室



回復期病棟：2階・3階病棟

＊脳血管疾患又は、大腿骨頸部骨折、脊髄損傷等の患者に対して、日常生活動作の向上による寝たきり防止と在宅復帰を目的としたリハビリテーション計画を、医師・看護師・介護職・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・心理士・栄養士・医療相談員・歯科衛生士等がチームとなり、協働で作成し集中的にリハビリテーションを行う病棟

＊患者が獲得したADL能力を退院前訪問や外出訓練を通じて評価・支援する

＊365日リハを実施

回復期病棟



👉 立ち上がり訓練風景

患者サポートセンター

＊令和2年新設

■目的 入院の応需力と医療の質の両方が高まる

■業務内容

- ①入退院支援と調整
- ②地域医療連携
- ③院内急性期病棟から回復期病棟への転棟調整
- ④患者相談・指導機能

患者サポート



教育体制

〈専従の教育マネージャーが支援します〉



恒心会 おぐら病院
KOHSHINKAI OGURA HOSPITAL

私達 恒心会おぐら病院の看護部は
人との出会いを大切にし、あなたの目指す看護、
大切にしたい看護に向かって支援します



恒心会 おぐら病院
KOHSHINKAI OGURA HOSPITAL

看護部の理念

＊私たちは、自ら実践した看護に責任をもち、常に患者さんや地域に向けてシームレスなサービスを提供できる看護を目指します

教育理念

＊地域の人々の健康に関するニーズに応え、質の高い看護を提供できるように、豊かな感性と高い倫理観を持ち幅広い知識・技術・態度を統合し、根拠ある看護実践を行える真に自立したナースの育成



恒心会 おぐら病院
KOHSHINKAI OGURA HOSPITAL

看護部の理念

＊私たちは、自ら実践した看護に責任をもち、常に患者さんや地域に向けてシームレスなサービスを提供できる看護を目指します

教育理念

＊地域の人々の健康に関するニーズに応え、質の高い看護を提供できるように、豊かな感性と高い倫理観を持ち幅広い知識・技術・態度を統合し、根拠ある看護実践を行える真に自立したナースの育成



恒心会 おぐら病院
KOHSHINKAI OGURA HOSPITAL

教育システム・キャリア支援

新卒・中途を問わず、看護師一人ひとりの成長を
大切にした教育体制を整えています 

- ❖ プリセプター制度のほか、ラダーに基づいた段階的な研修やOJT、院内外の研修参加支援を通じて、臨床スキルと人間力の双方の育成に力を入れています。
- ❖ 認定看護師・特定行為研修等へのキャリア支援も積極的に行っており、幅広いフィールドで看護の専門性を磨くことが可能です。
- ❖ 地域に根ざしつつ、急性期から在宅、予防まで多様な現場で経験を積める環境は、看護師としてのキャリアの幅を広げる大きな魅力となっています。



恒心会 おぐら病院
KOHSHINKAI OGURA HOSPITAL

教育システム・キャリア支援

教育計画は**クリニカルラダー**に基づき、以下の**4本柱**で構成されています

1. 特定・認定看護師や外部講師による専門研修

認知症看護、ACP・退院支援、摂食嚥下、脳卒中看護など、各ラダー段階に応じた幅広い研修を実施。

2. 川嶋みどり氏が提唱する「て・あーて」研修

看護の原点に立ち返り、丁寧なケアと感性を養う実践的学びを重視。

3. 現場体験型の他部署研修・退院前後訪問

個々が、興味のある病棟・外来・手術室等の研修や、患者の退院後の生活について多職種連携や地域包括ケアを実感しながら学べる仕組み。

4. eラーニングによる知識習得の支援

ICTを活用し、個々のペースで基礎から専門領域まで学習可能。

♥ ラダーⅢ以上では、各部署より毎年1名以上が院内外で看護研究を発表し、実践知を積極的に外部発信しています。また、医療DXの推進にも積極的に取り組み、ICT活用による業務効率化と看護の質向上を図っています。

新人教育支援

2025 年度

プリセプティの 歩み



恒心会おぐら病院 看護部



教育理念

地域の人々の健康に関するニーズに応え、質の高い看護を提供することができるように、豊かな感性と高い倫理観を持ち、幅広い知識・技術・態度を統合して、根拠に基づいた看護実践を行える、真に自立したナースを育成する。

目指す看護師像



人を大切にし、思いやりの心を持って、人と接することができる人



自らの意見を持ち、かつ柔軟に他者の意見に耳を傾けることができる人



人としての成長を目指し、看護専門職としての誇りと責任を持って、行動できる人



在宅での生活を見据えた看護ができる人



自施設の立ち位置を理解し、自信の役割を意識して地域との連携ができる人

新人教育支援

プリセプティ=新人(1年目)看護師支援体制 2025年度版

社会医療法人恒心会 恒心会おぐら病院では、プリセプティの皆さんが、一日でも早く職場に慣れ、恒心会看護部が目指す看護師に近づけるよう支援していきます。

各部署では、初期の頃は、プリセプターが中心となって共に行動しますが、同じチームのスタッフも担当となり、それぞれの役割も見守っていきます。



プリセプティの皆さんには、毎月、自分が感じている今の気持ちや普段の生活を尋ねます。プリセプターやスタッフとの関係に悩んでいた、体調を崩していたりなどの問題が発生している場合に、早期に対応できるようにするためです。自分自身で克服しなくてはならないこともあります、一人で抱えず相談していく姿勢を身につけることも必要です。

一つ一つ課題を乗り越えていきましょう。



《新人看護師研修について》 2025年度版

恒心会おぐら病院看護部

恒心会おぐら病院では、H22年厚生労働省が提示した「新人看護職員研修ガイドライン」(H26改訂)に沿って「新人看護師研修」を作成した。教育の基本は、集合研修・職場教育・自己学習としている。



1. 新人看護師の研修

- 1) 新人看護師とは、看護師免許取得後3年目までの看護師を指し、1年目看護師はプリセプティと称している。
- 2) 1年目看護師の研修は、プリセプター制度を導入している。

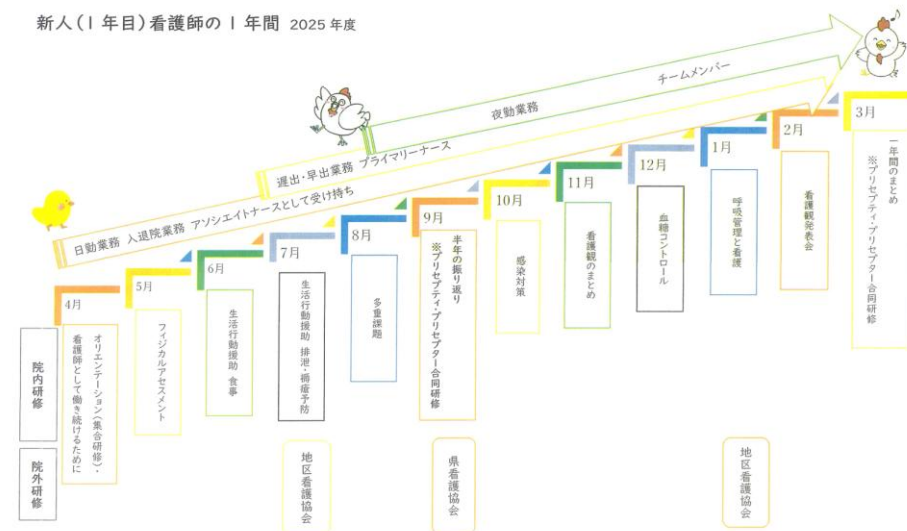
2. 教育計画

- 1) 1年目から3年目までは、経年毎の研修とする。
- 2) ラダーレベルの研修は、2年目からレベルIに移行する。そのため、2年目、3年目は並行し進んでいくことになる。

3. 研修における目標、看護技術等の評価

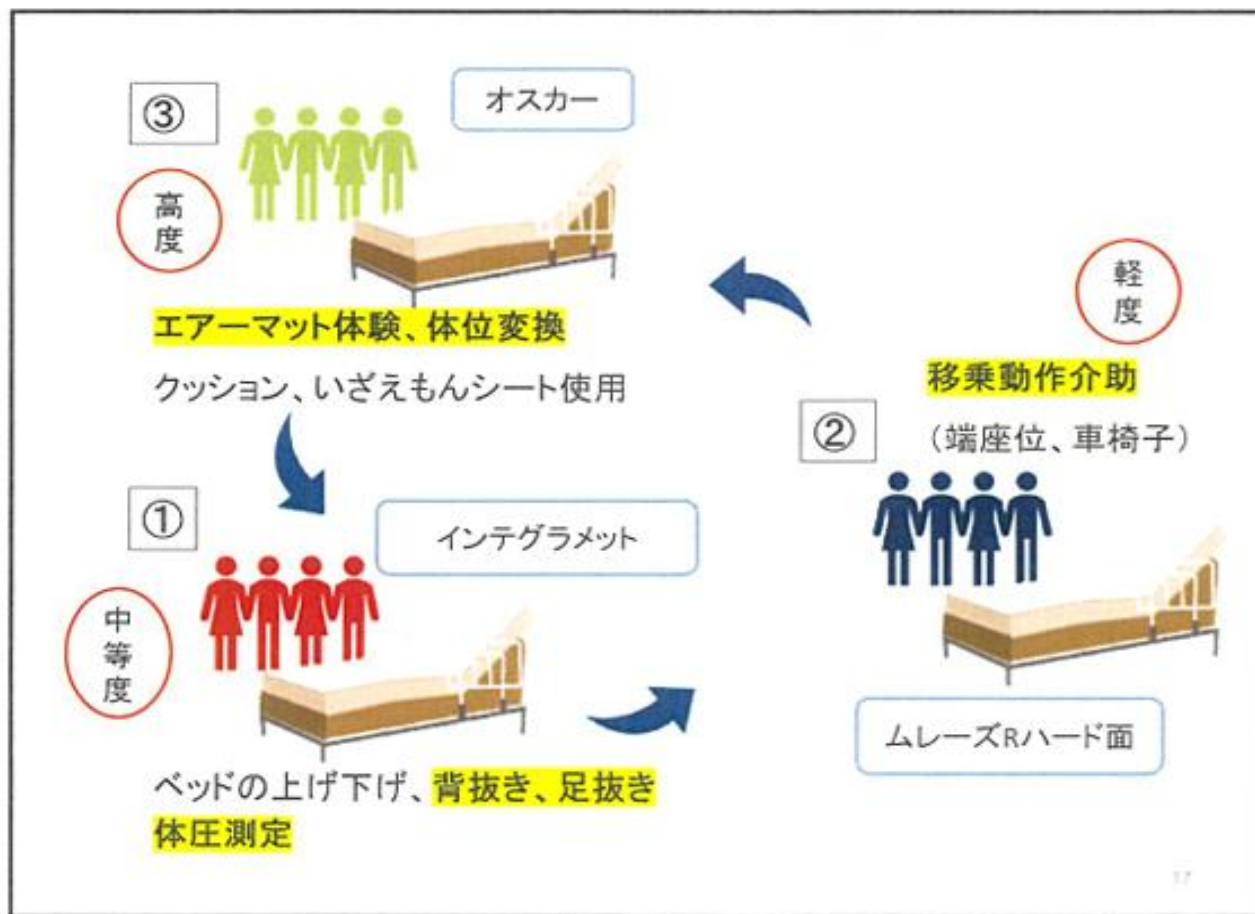
- 1) 別冊「新人看護師研修における到達目標」は、3年目までの達成を目標としている。そのため、3年目まで経過を辿って評価できるように作成している。評価方法については、別冊に記載している。
- 2) 評価は、本人、プリセプターの他、時期により、教育担当者(副師長・主任)、責任者(看護師長)達が加わる。

新人(1年目)看護師の1年間 2025年度



演習

3タイプのベッドで体位交換、背抜き足抜き、移乗動作などを体験しました



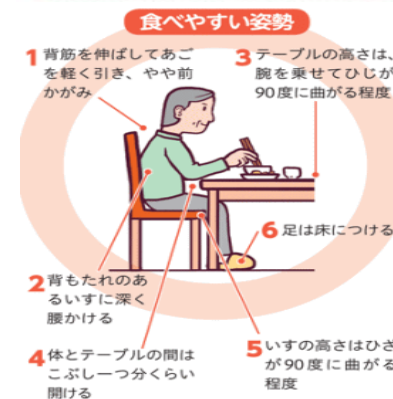
1

中等度 背抜き、足抜き、体圧測定



演習

実際にえびせんを食べて、**正常な嚥下**を体験しました



食事の際に足底接地による安定した姿勢を体験し、足底接地の必要性を理解しました



教育システム・キャリア支援

恒心会 おぐら病院 看護部 キャリアナース支援マニュアル



入職日(20 年 月 日)

氏名 ()

社会医療法人 恒心会 看護部

育児休業復帰者 支援マニュアル



育休復帰日 (年 月 日)

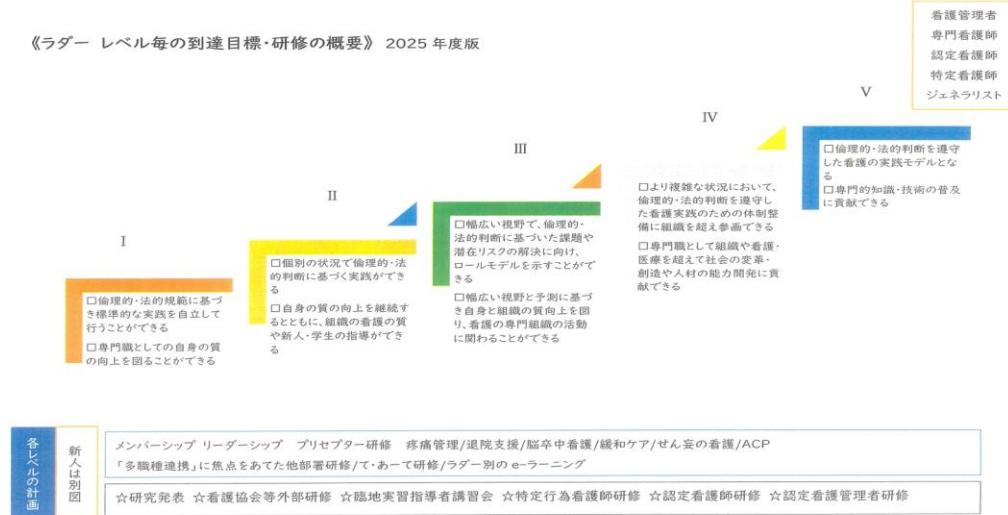
部署名 ()

氏名 ()



クリニカルラダー教育計画

《ラダー レベル毎の到達目標・研修の概要》 2025 年度版



て・あーて研修

特定看護師による研修資料



ラダーII研修看護における
疼痛コントロール

講師：西田特定看護師

研修担当：松山・下川・野元

令和7年6月7日（土）8:30～12:30

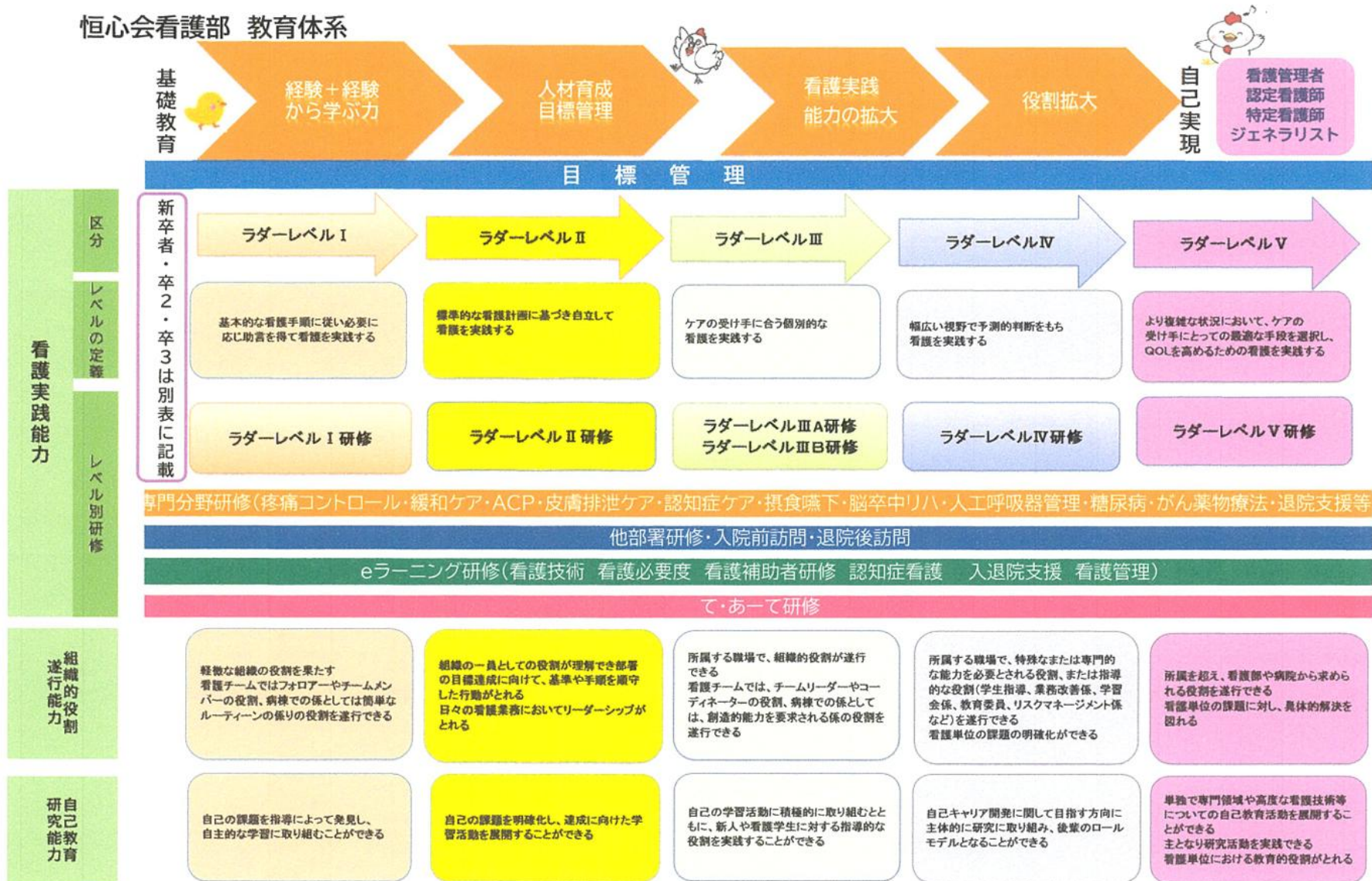


講義内容

- ①術後疼痛管理チームの紹介
 - ②痛みの生理学について
 - ③鎮痛剤の種類、特徴について
 - ④多角的鎮痛について
 - ⑤痛みの看護について
- ～実証例の紹介とグループワーク



教育システム・キャリア支援：概念図



有資格者

■認定看護師（7職域） 8名

緩和ケア・皮膚排泄ケア・感染管理・がん薬物療法看護・
認知症看護・摂食嚥下障害看護・脳卒中リハビリテーション看護

■特定行為研修修了者 5名

■認定看護管理者教育課程取得

セカンドレベル 15名・ファーストレベル 28名

■実習指導者育成研修修了者 17名

■卒後教育研修修了者 41名

■認知症ケア研修修了者 36名

（人数は在職者のみ）



恒心会看護部



他部署見学研修について

～他部署紹介～



恒心会 おぐら病院
KOHSHINKAI OGURA HOSPITAL

目的

自部署での経験できない看護技術を経験することで、知識を深め技術を習得し成長の場とする。

また、人事交流により部署間の情報交換を行い、業務改善につなげる。



他部署見学内容

患者サポートセンター



■ 予定入院が決定した患者の入院支援
(入院支援説明、スクリーニング、多職種連携の実際、入院時から退院を見据えた支援)

■ 安心・安全な手術を受けるための支援 (周術期管理チーム看護師より学ぶ)

■ MSWの働きや役割について知る

他部署見学内容

外来



▶救急外来

- 救急隊との連携・情報共有、救急トリアージ、救急受け入れの一連の流れ、患者家族へのケア、外来スタッフ間の連携

▶診察室

- 診察介助の流れ、外来患者とのかかわり、在宅指導、受付から診察までの一連の流れ、病棟・他職種との連携

▶化学療法

- 外来化学療法の一連の流れと治療の実際、患者家族へのケア、外来スタッフ間や病棟スタッフへの継続看護につなげる、がん化学療法認定看護師・外科スタッフとの連携

▶内視鏡室

- 内視鏡検査や治療の見学又は実践、治療時から鎮静・覚醒までの状態観察の理解、検査や治療の流れを理解し、病棟との継続看護へつなげる。
- 内視鏡スタッフ間の連携

他部署見学内容

手術室

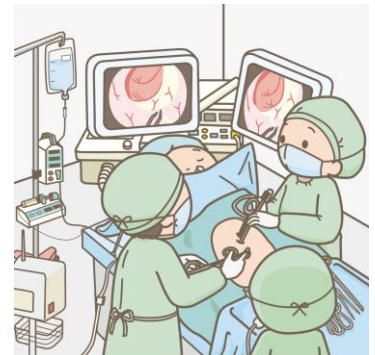
- 周術期における術中看護の理解（入室・麻酔導入・術中・手術終了～退出）
- 手術室スタッフとの連携確認
- チームカンファレンスの参加
- 麻酔看護の見学と実践（挿管・抜管介助、鎮静時・麻酔覚醒時の看護）
- 手術見学による解剖や術式の理解
- 手術体位について
- 室内環境の調整について
- 中央材料室（消毒・滅菌）



他部署見学内容

3階西病棟：急性期外科

- 消化器外科疾患を有する患者の看護（手術目的、保存治療、化学療法、緩和ケア）
- 病期別チーム編成（周術期チーム、保存・緩和チーム（化学療法を含む））
- 皮膚排泄ケア認定看護師を中心としたストーマ患者の対応
- 緩和ケア看護認定看護師（疼痛コントロール（麻薬使用など）、がんカンファレンス毎週火実施）
- ACPを含めた情報共有
- 緩和ケア患者の在宅退院支援（他職種・院外部門連携）



他部署見学内容

4階病棟：急性期整形外科

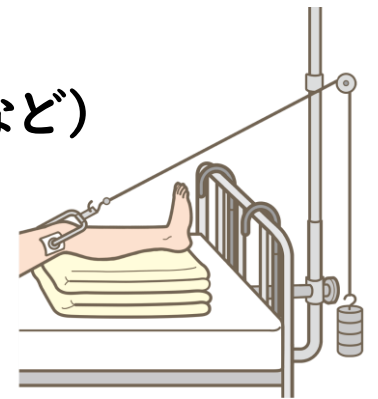


■ 周術期の看護（術前オリエンテーション・術後疼痛管理・術後合併症観察と予防・DVT）

■ 義肢装具の種類や装着方法に関する知識
（フィラデルフィア・頸椎カラー・体幹コルセット・ニーブレス・アービーショルダー・義肢）

■ 整形外科特有の手技（包帯法・ギプス・シーネ固定・直達介達牽引など）

■ 骨粗鬆症治療（OLSについて）



他部署見学内容

5階病棟：脳神経内科・脳神経外科

▶脳神経内科

- 神経難病患者の看護（退院支援、在宅指導）
- 多職種協働の退院支援カンファレンス・脳神経内科回診（毎週火曜日）
- 免疫グロブリン療法や人工呼吸器使用している患者の看護

▶脳神経外科

- 脳神経外科の術前術後の管理や急性期のフィジカルアセスメント
- 脳神経外科疾患の経過
- 神経所見のとり方
- パートナーシップによる看護



他部署見学内容

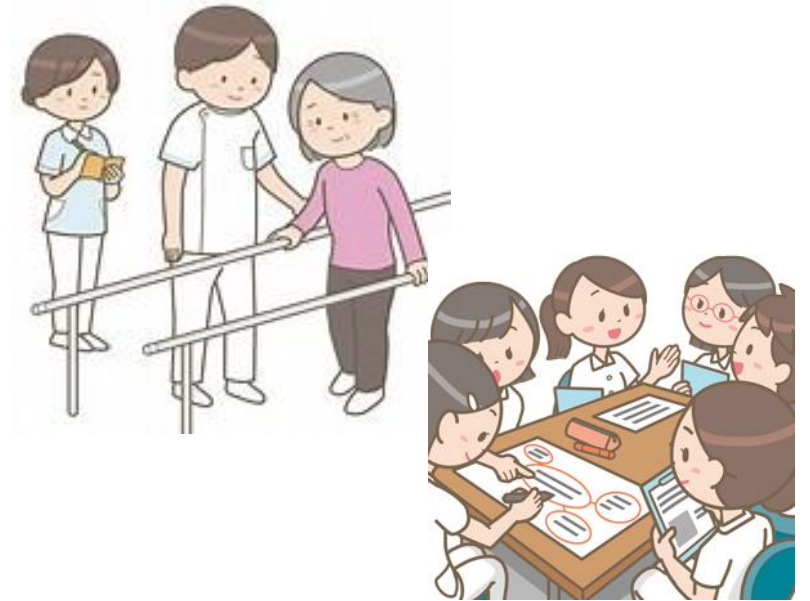
回復期病棟：2階東・3階東病棟

■ 自立促進や寝たきり予防

■ 患者の意欲を引き出す心理的なケア

■ 日常生活動作の指導、嚥下や排泄などの機能障害に対する
専門的な知識と技術を用い、患者・家族の生活の再構築を支援する

★在宅復帰に向けて多職種で連携し、個々のゴール設定を行い
ADLの獲得とQOLの向上を目指す



他部署見学内容

介護老人保健施設 ヴィラかのや

＊在宅支援・在宅復帰のための地域拠点となる施設

＊リハビリテーションを提供する機能維持・回復の役割を担う施設



▶入所施設

- 要介護者を対象に、医療行為・日常生活のケアを実践
- 多職種と連携し、在宅生活に向けた支援（栄養・口腔ケア・排泄・保清等の生活に必要なこと）
- 介護老人保健施設での看取り

▶通所リハビリテーション

- 社会復帰・地域復帰を目指すリハビリテーション
- 利用者が可能な限り自宅で自立した日常生活を送れるような支援
- 自宅にこもりきりの利用者の孤立感の解消



医療DXの推進

Gakken
メディカルグループ

入院のご案内

入院の手続きに必要な持ち物

以下をご持参ください



診察券・保険証
(マイナンバーカード)



入院申込書兼誓約書



健康チェック表、コロナ
問診表

業務委員を中心に、検査説明等を作成しています。患者さん・ご家族にも繰り返し見ていただけて説明の質を担保し、スタッフの業務時間の短縮に繋がります。

マイナ保険証の利用も推進しています。



患者サポートセンターが、他院との連携、入退院支援に活用を始めました。タイムリーな他院との連携を図っていきます。

CAREBOOKとは 導入事例 新着情報 よくある質問 資料請求・お問い合わせ

入退院支援クラウド

500以上の病院が導入

CAREBOOKは入退院支援業務の負担軽減・効率化をサポートするクラウドサービスです

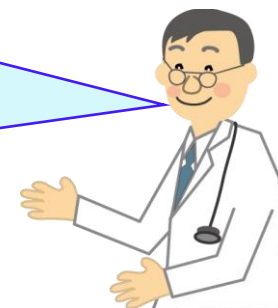
資料請求・お問い合わせ

医療DXの推進にも積極的に取り組み、ICT活用による業務効率化と看護の質向上を図っています

看護職員ユニフォームは2色制を取り入れています



夜勤明けのスタッフがわかりやすく
いいね。



ユニフォーム2色制を取り
入れることで、残業の低
減につながりました。

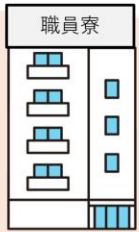


福利厚生給について

住まい関連

- ・社員寮
- ・家賃補助

- 社員寮：間取り：1K（単身）、2DK・3LDK（世帯持ち用）
家賃：1K15,000円/月
- 家賃補助（賃貸のみ対象）：賃貸料金の半額補助
* 単身：最大15,000円 * 既婚者（世帯主）：最大30,000円



健康サポート

- ・健康診断
- ・フィットネス事業

- 健康診断（春・秋）
- 恒心会フィットネスジム：職員はもちろん家族の利用も可能
色々な企画のあります



子育て支援

- ・24時間託児施設
- ・柔軟な勤務体系

- お母様方の勤務に応じた保育時間でお預かり、安心の24時間託児施設
- 利用対象年齢→0歳児～2歳児（年度末まで）
- 離乳食・アレルギー食にも対応可能
- 育児短時間勤務制度あり ■リフレッシュデー3日間あり



リフレッシュ

- ・有給休暇取得
- ・クラブ活動

- 6ヵ月経過後の有給休暇日数：10日間
- 各種運動クラブ（同好会）あり（6つの同好会あり）



暮らし支援

- ・社員食堂
- ・通勤手当

- 職員食堂：1食 250円
- 通勤距離に応じ支給（一定の基準あり）



待遇面

- ▶職員給与 基本給 219,000円(新卒)～
- ▶諸手当 夜勤手当 2交代 1回につき11,500円
- ▶通勤手当 または 住居手当 ▶その他 当法人規定に基づき支給
- ▶職員賞与 年2回 年計4.0ヶ月分
- ▶休日：月9日(日・祝含む) ▶ 慶弔休暇あり
- ▶その他に公的制度に則った産休・育休・介護休暇あり
- ▶年次有給休暇(最大40日迄)

勤続年数(年)	0.5	1.5	2.5	3.5	4.5	5.5	6.5
付与日数(日)	10	11	12	14	16	18	20

待遇面

▶勤務時間：日勤 8:30～17:00 夜勤(2交代) 16:30～翌9:00

*表記以外に変則シフトあり

▶同好会活動：テニス部、フットサル部、バレーボール部、野球部等

▶法定福利厚生：健康保険、雇用保険、厚生年金、労災等加入

▶財形、職員検診、職員旅行、永年勤続表彰、歓迎会、忘年会等

▶退職金：勤続3年以上

▶法人内フィットネスジム

▶保育所 院内保育所(24時間制、0歳児～3歳児未満)



院内職員用フィットネスジム



社会医療法人恒心会 恒心会 おぐら病院



施設見学お待ちしております

＜＜問い合わせ・連絡先＞＞

- 〒893-0023 鹿児島県鹿屋市笠之原町27番22号
- 社会医療法人恒心会 恒心会おぐら病院
- 電話：0994-44-7171
- 担当：事務局 西